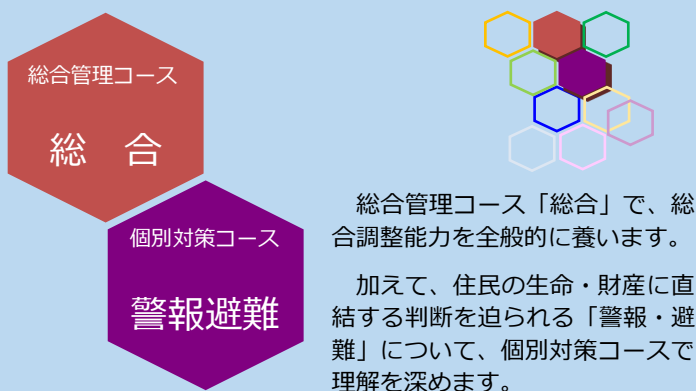


2月12日	個別対策コース： 復旧 「復旧復興」 2月12日（木）～13日（金）	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
	復旧・復興プロセスと概要 被災者の復旧・復興プロセスの全体像について学びます。	廃棄物処理 復旧・復興の第一歩となる災害瓦礫の撤去とその処理の実態について、事例に基づき学びます。	被災者生活再建支援 被災者生活再建支援法などの復興法制構造や適用範囲を学びます。	応急仮設住宅の確保 応急仮設住宅の用地確保や建設、住民の選考・入所までの一連の流れを学びます。	復興計画とまちづくり 早急に復興するための計画策定手法と復興まちづくり事例を基に実務を理解します。	
2月13日	経済復興支援 被災地の復興における経済復興の重要性を理解し、経済復興方策について学びます。	復旧・復興推進上の課題 災害事例等から、復旧・復興期における被災者の実態と施策実施の課題を学びます。	復興計画作成ワークショップ 大規模災害時の、復興準備室から復興本部設置、復興計画策定までの流れを踏まえ、復興会議運営と復興計画策定における留意点などを演習形式で考えます。		全体討論・閉講 参加者の意見交換から、災害対応に関する考え方を深めます。	

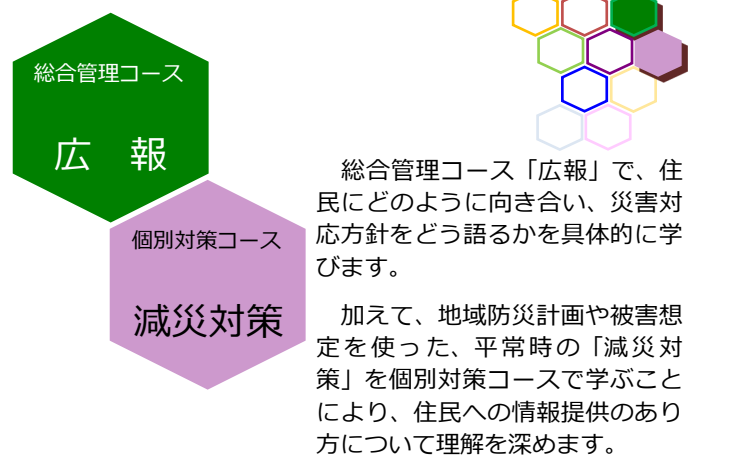
1月27日	防災基礎コース：「防災基礎」 1月27日（火）～28日（水）				
	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
1月28日	危機管理総論 危機管理の基本的な考え方と実務上のとらえ方を学びます。	災害法体系 災害対策基本法・災害救助法などの構造や適用範囲、権限、財源の概要を学びます。	防災計画 防災計画の法的な位置づけを理解し、有効活用方策と補完プログラムを学びます。	地震発生メカニズム 地震災害の発生メカニズムと、地震による物理的被害を理解します。	地震災害の実態(事例) 東日本大震災で対応業務に従事した行政職員の経験談から、災害対応の教訓を学ぶ。
	火山災害のメカニズムと実態(事例) 火山災害の発生メカニズムと、火山噴火及び降灰、火山の土石流による被害を理解し、自治体の対応を学びます。	風水害のメカニズムと実態(事例) 風水害の発生メカニズムと洪水、土砂災害、高潮による被害を理解し、自治体の対応を学びます。	災害対応過程と態度を学ぶ(演習) 災害発生後に被災者が直面する様々な課題を時間軸に沿って具体的に理解し、行政の対応を被災者の視点から考えることの意味を学びます。		全体討論・閉講 参加者の意見交換から、災害対応に関する考え方を深めます。

標準的な履修モデル

Case 1 災害対応の経験の浅い危機管理監や災害対策課長など防災責任者



Case 2 防災業務の経験はあるが実際には災害対策本部の設置経験の無い防災責任者



会場

有明の丘基幹的広域防災拠点施設

東京都江東区有明3丁目

アクセス

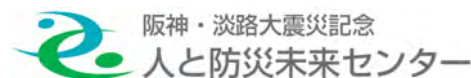
有明の丘基幹的広域防災拠点施設は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に、現地における被災情報のとりまとめや災害応急対策の調整を行う「災害現地対策本部」等が置かれる首都圏広域防災のヘッドクォーター及び広域支援部隊等のベースキャンプ、災害医療の支援基地として、東扇島地区（川崎市）の物流コントロールセンターと一体的に機能する防災拠点施設です。



実施主体



企画・運営



巨大災害に備えて 防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）



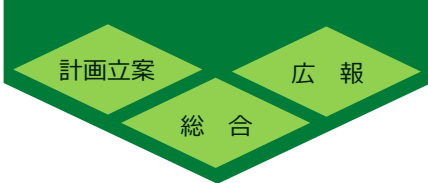
内閣府(防災)

内閣府（防災）では、「危機事態に迅速・的確に対応できる人」、「国・地方のネットワークを形成できる人」を「防災スペシャリスト」に求める人材像と定め、国や地方公共団体等の職員を対象とした「防災スペシャリスト養成研修」に取り組んでいます。

その一環である有明の丘基幹的広域防災拠点を会場として実施する本研修は、防災スペシャリストに求める能力は役割に応じて異なるという観点から、「本部運営の中核的役割を担う職員」、「個別課題の対応に専門的に従事する職員」、「防災部門への新任職員」を対象に、「総合管理」、「個別対策」、「防災基礎」の3コースを整備しました。

総合管理コース

本部運営の中核的役割を担う職員を対象とした
3つのコース 各2日間



組織の運用上不可欠な総合調整を行う上で必要となる「知識」「技能」「態度」を身につけます。どのような状況においても、正しい心構えで、的確かつ迅速に判断・実行する能力を習得するための演習を活用します。

個別対策コース

個別課題の対応に専門的に従事する職員を対象とした
6つのコース 各2日間



個別課題に特化し、その課題への対応を図る上で必要な「知識」や「技能」を身につけます。状況に応じて適切な対応を行うための個別課題に応じた「態度」についても習得します。

防災基礎コース

防災部門への新任職員を対象とした
1つのコース 2日間



防災活動を行う上で前提となる「知識」や、活動を行う上で身につけておくべき「態度」など、防災業務の遂行に必要な不可欠な基礎知識、態度を習得します。

CURRICULUM

カリキュラム



防災活動に必要な能力を確実に身につけるために、受講者が強化したい項目に応じて自由に選択し、組み合わせで履修できるカリキュラムを実施します。それぞれのコースを履修することにより、「防災スペシャリスト」が実施する防災活動のうち、どの活動の能力を身につけることができるかがわかるようになっています。

※ 実際の研修カリキュラムは、変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

日	月	火	水	木	金	土
1/25	26	27	28	29	30	31
		防災基礎		物資物流・広域行政		
2/1	2	3	4	5	6	7
	総合		警報避難			
8	9	10	11	12	13	14
	避難収容・被災者支援			復旧復興		
15	16	17	18	19	20	21
		計画立案		訓練企画		
22	23	24	25	26	27	28
		広報		減災対策		

総合管理コース「総合」 2月2日（月）～3日（火）

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月2日	組織マネジメント 災害対応に必要な「災害対応の3原則」と「活動の心構え・取組姿勢」を学びます。	本部組織体制・ICS 災害対応組織における標準的組織体制や対応手法の理論を学びます。	計画立案・活動調整 目標管理型災害対応の理論と具体的な対応計画立案・活動調整手法を学びます。	災害対策本部運営訓練 災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を決定し、計画を立案し、活動を調整しながら、実行を管理する手法を学びます。	
2月3日	情報分析・実行管理訓練 災害対応時の具体的なテーマを設定し、初動～応急期における災害対応のための情報分析と実行管理の考え方を学びます。		模擬記者会見 公共団体の長や幹部は、被災者にどう向き合い、どう語るのかを学びます。		全体討論・閉講 参加者の意見交換から、災害対応に関する考え方を深めます。

総合管理コース「計画立案」 2月17日（火）～18日（水）

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月17日	組織マネジメント 組織におけるリスクマネジメントの重要性と、事業継続の手法について学びます。	被害予測・被害軽減 災害発生後の被害予測、被害軽減に向けた業務の考え方を学びます。	情報収集・分析演習 情報収集と分析手法について、地理空間情報を活用した災害対応を学びます。	計画立案・意思決定 意思決定を行う上で、目標管理型災害対応の理論と対応計画立案手法を学びます。	
2月18日	災害対策本部運営訓練 災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を検討し、計画を立案し、活動を調整しながら、災害対策本部会議において対策を決定する手法を学びます。		情報分析・実行管理訓練 災害発生時の具体的なテーマを設定し、初動～応急期における災害対応のための情報分析と実行管理の考え方を学びます。		全体討論・閉講 参加者の意見交換から、災害対応に関する考え方を深めます。

総合管理コース「広報」 2月24日（火）～25日（水）

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月24日	組織マネジメント 災害対応に必要な「災害対応の3原則」と「活動の心構え・取組姿勢」を学びます。	災害広報(概論) 災害時の多様な情報提供方法、報道機関対応の概要・課題を学びます。	情報対応の実態 過去の災害事例を基に、災害報道が社会に及ぼす影響について学びます。。	広報資料作成訓練 仮想地域における直下型地震のシナリオを設定した図上演習をやりながら、公共団体の広報資料(被害報)の作成を中心にした災害対策本部運営手法について学びます。	
2月25日	模擬記者会見 公共団体の長や幹部は、被災者にどう向き合い、どう語るのかを学びます。		情報伝達と情報管理 自治体の災害広報における「広報内容の検討」の手順と方法を具体的な事例を基に学び	マスコミ対応の実態 過去の災害事例を基に、報道関係者から災害報道の実態に	全体討論・閉講 参加者の意見交換から、災害対応に関する考え方を深めます。

個別対策コース：「**予防**」 「訓練企画」 2月19日（木）～20日（金）

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月19日	模範的な取組事例 各地域で実施されている防災に関する模範的な取組事例を学びます。	訓練企画運営実践 討議型図上演習(イメージトレーニング) 訓練手法の実践を経験し、復興業務に係る訓練の企画運営の考え方を学びます。		訓練企画運営実践 討議型図上演習(エスノグラフィー) 訓練手法の実践例の一つであるエスノグラフィーを経験し、個人を対象とした訓練の企画運営の考え方を学びます。	
2月20日	訓練企画運営実践 状況付与型図上訓練 訓練手法の実践を経験し、災害対策本部運営訓練の企画運営の考え方を学びます。		訓練の企画・運営、評価・改善手法 訓練の企画運営から訓練結果の評価と既往の計画等にフィードバックするまでの一連の流れを学びます。		全体討論・閉講 参加者の意見交換から、災害対応に関する考え方を深めます。

個別対策コース：「**予防**」 「減災対策」 2月26日（木）～27日（金）

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月26日	BCM 各公共機関におけるBCMの意味と重要性について、事業継続ガイドラインを含め学びます。	地域防災計画 地域防災計画の法的な位置づけを理解し、計画を有効活用する方策を学びます。	防災思想・知識の普及 災害発生直後からの災害対応の概念と普及する方策を学びます。	活動準備Ⅰ(災害対策本部空間配置実習) 災害対策本部のレイアウトの重要性、または適切なレイアウトの考え方について、演習を交えて学びます。	
2月27日	活動準備Ⅱ(マニュアル作成手法実習) 災害対応をプロジェクトマネジメントの枠組みで理解し、実効性の高いマニュアルを作成するための手法および概念を演習形式で学びます。		自助・共助促進、防災啓発の企画実習 地域で災害発生直後の状況を理解し、個人や地域で行うべき防災対策のあり方とそれを関係者が考える流れを演習形式で学びます。		全体討論・閉講 参加者の意見交換から、災害対応に関する考え方を深めます。

個別対策コース：「**応急**」 「物資物流・広域行政」 1月29日（木）～30日（金）

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
1月29日	救援物資調達・供給 被災者への、救援物資の調達から輸送・保管・配布に至る全体像について学びます。	交通確保と緊急輸送 救援物資の輸配送等が必要となる道路の確保や緊急車両の手続きなどを学びます。	物資調達・供給上の課題 災害事例等から、救援物資の調達・提供業務における課題について学びます。	自発的支援の受入 企業や個人等から自発的に提供される物資・ボランティアの受入について学びます。	国における活動体制 大規模広域災害時の国による救援物資供給の計画・体制等について学びます。
1月30日	広域的な応援体制 大規模災害時に、知事会や応援協定等に基づき行われる応援について学びます。	広域的応援における課題 災害事例等から、広域的な応援受援の実態と課題について学びます。	広域応援・受援ワークショップ 救援物資や人的派遣など、応援および受援活動の実施における留意点などを学びます。	物資調達演習 救援物資の調達から輸送・保管・配布に至る一連の活動における留意点を学びます	全体討論・閉講 参加者の意見交換から、災害対応に関する考え方を深めます。

個別対策コース：「**応急**」 「警報避難」 2月4日（水）～5日（木）

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月4日	警報避難対策の枠組 災害発生直前対策としての警報と避難誘導について基本的な考え方を学びます。	警報等の種類と内容 気象庁、国交省・都道府県から発表される気象警報や河川情報などについて学びます。	警報等の伝達上の課題 気象予警報等や避難勧告等を住民に伝達し行動を促す際の課題を学びます。	警報等の伝達実習 気象予警報や避難勧告等を周知するための様々な手法を学び、具体的な広報文の作成について演習します。	
2月5日	避難勧告・指示等の判断・伝達 自治体で避難勧告等の発令を判断する手順等について学びます。	避難勧告・指示等の実態と課題 災害事例にもとづき避難勧告等の発令判断、伝達の実態と課題について学びます	避難勧告等の判断・伝達訓練 台風接近時などのシナリオに沿って、気象予警報や避難勧告等の判断、発表、伝達の流れを演習します。		全体討論・閉講 参加者の意見交換から、災害対応に関する考え方を深めます。

個別対策コース：「**応急**」 「避難収容・被災者支援」 2月9日（月）～10日（火）

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月9日	災害救助法 災害救助法の概要と適用手続きについて学びます。	避難収容 避難所(福祉避難所を含む)の配置や指定、周知など事前対策について学びます。	避難所運営ワークショップ 住民やNPOなどと協働しながら、避難所の開設から、住民の収容、運営、閉鎖をするまでの流れや留意点を、ワークショップ形式で学びます。		医療活動 避難者の健康対策(医療・保健)について学びます。
2月10日	要配慮者対応ワークショップ 高齢者や障害者、幼児、外国人等など配慮を要する住民の避難収容や生活支援対策における留意点や課題をワークショップ形式で考えます。		被災者生活再建支援 被災者生活再建支援法などの復興法制構造と適用範囲を学びます。	災害救助法の運用 避難所の運営や生活支援にかかわる災害救助法の運用の実態を学びます。	全体討論・閉講 参加者の意見交換から、災害対応に関する考え方を深めます。